2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 22 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	合原理映
研究課題	平等権をめぐる裁判における司法の役割についての研究				
研究キーワード	司法権、違憲審査権	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

これまで、選挙制度を創設する際に、裁判所が国会といかに協働できるのかについて研究を進めてきた。具体的には、投票価値の平等に着目し、選挙制度の立法課程において、投票価値の平等を実現するために裁判所がどのように協働しうるのかについて研究してきた。

2023 年度は、国政選挙における投票価値の平等を実現するために、これまで国会がどのように立法を行なってきたのかを詳細に検討した。日本国憲法制定以来から検討を進めている。

論文としてまとめるには至らなかったものの、今後、これまでの研究成果をまとめたいと考えている。

これと並行し、20023 年度は共著の教科書の改訂版（全訂）の執筆を行った。

2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

特になし

【著書・論文（査読なし）】

君塚正臣編『ベーシックテキスト憲法（第4版）』（法律文化社）

阪本昌成編『謎解き 日本国憲法（全訂第3版）』（有信堂）

【学会発表等】

特になし

3. 主な経費

書籍代など

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

（本文は2ページ以内にまとめること）